

差出人: 西野輝一
送信日時: 2017年11月27日月曜日 20:57
宛先:
件名: 10月16日付文書への回答について。
添付ファイル: 第24回全体整備検討会議議事録.pdf

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議
石垣部会座長 北垣 聡一郎 様

平素は特別史跡名古屋城跡の保存・整備につきましてご指導いただき、誠にありがとうございます。
つきましては、2017年10月16日付いただきました石垣部会からの文書について回答をさせていただきます。時間を要したことをお詫びいたします。
いただきました文書では、会議中での瀬口座長の発言に対して、石垣部会の構成員の総意として明確な撤回及び石垣部会に対する謝罪を求めておられましたので、ご本人に説明し、意思を確認いたしました。
その結果、問題とされている発言は、当日会議の議事録P.18にある瀬口氏の『石垣部会は、安全性というのは考えてなくて、今のところ。まずは調査を・・・』というものです。
瀬口氏の説明によると、「当日の議事は、所長の挨拶にあったように、“両部会の検討状況について”というもので、両部会からの報告があり、それをもとに各構成員から意見を伺うというものでした。ほぼ全員の構成員から意見を頂き、会議の予定時間が終わりに近づいていたことから、上記の議事録P.18にある私の発言は、まとめの一部として、石垣部会の報告を単に確認しようとしたものであり、石垣部会が安全性を軽視しているとか、考慮していないという主旨ではありません」ということでした。
これについては、当日提出された「名古屋城天守再建計画に対する天守台保全のための提言」の「2.天守台保全のために実行すべき要件」でも述べられているように、既に着手した調査の後に検討の結果次第で実行すべき要件として、現天守台と新・旧天守の構造体としての安定性の検討が挙げられています。
また、当日の発言でも、「P.6にあるように、石垣部会からの報告として『文化財としての遺構の価値の検証、さらには保護対策というものを講じるうえで、学術的な面から最小限の考古学的な調査というものが必要ではないか。』
また、『老朽化する天守台石垣をどのように保全していくのかという問題が、おそらく出てくるはずだと思っています。』という事前の説明があり、石垣部会の方でも、天守台石垣の安全性について、いずれ検討しなければならないと考えておられることは私も認識しておりました。問題とされている発言は、現段階ではまだそこまで達していないという主旨の発言だったのですが、説明不十分となり、誤解を招いたようで、議事進行の混乱につながってしまい申し訳なく思っています。」ということでした。
今後について、瀬口氏からは、「石垣の安全性について、P.17にあるように、石垣部会の構成員から『さまざまな石垣の耐震強度を高める工法、新しい技法があると伺っていますので、どこまでそれを入れていくかということ、建物の連携の中で考えていくべきだと思います。』という発言もあり、安全性については、石垣及び天守の両部会において、協力して検討していただきたい。」
また、「当日、天守閣部会の報告をされた小野氏から、『天守閣部会の認識も基本的には（石垣部会と）同じだと思います。』『基本的な姿勢は、先ほど言いましたように、天守台の石垣についての保全が確実に図れるような方式を、現状のいろいろな技術的なレベル、耐震の基準とかいうものの中で、我々としては選択していきたいと思っています。』(P.16)という発言にあるように、天守閣部会の方でも、石垣の保全と耐震の両立可能な方法を考えていくという立場であり、これは、両部会の共通の認識であると考えています。」とのことでした。

一方で、名古屋市といたしましては、市長から直接瀬口氏対し、より一層丁寧な説明に努めるとともに、座長として円滑な議事の進行にご留意いただくよう要請したところ、瀬口氏からは、「今後全体整備検討会議の座長として議事を進めていく中で、丁寧な説明を心がけ、円滑な議事進行に、より一層努力していきたい」とのお話をいただきました。そこで、差し支えなければ、次回の石垣部会では市長が出席し、冒頭で次の内容を述べさせていただきたいと存じます。

○市長コメント

名古屋城の保存・整備事業に対して、大変ご協力を頂き有難うございます。

10月13日に行われた全体整備検討会議には石垣部会の皆様もオブザーバーとしてご出席いただきました。
その中で、石垣部会の検討内容に関する発言・質疑により議事が大変混乱しましたことは、会議の主催者として大変残念に思っております。会議の座長である瀬口氏に対しましても、私の方から、より一層丁寧な説明に努めるとともに、座長として円滑な議事の進行にご留意いただくよう要請したところでございます。

私は多くの市民の皆様から「天守閣を一日も早く木造で造って欲しい」という声をいただいております。また、名古屋城天守閣積立基金にもすでに1億円を超えるなどたくさんのご寄付をいただいております。そういった市民の希望に応えるため、現在進めております、天守閣木造復元事業に精一杯取り組んでまいり所存でございます。
当然のことながら、特別史跡である石垣について、しっかりと保全するとともに安全な状態を保つことは必須のことであると考えております。そのためには、石垣部会の皆様のお力をお借りすることがどうしても必要です。本市もより一層努力してまいりますので、石垣部会の皆様におかれましては、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

名古屋城総合事務所
所長 西野輝一
Tel 052-231-2486
Fax 052-201-3646